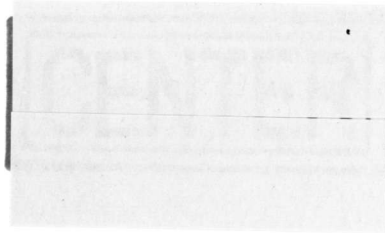


SR-30

NATURAL SOUND SURROUND AMPLIFIER

取扱説明書・保証書



ご使用前に必ずお読みください。

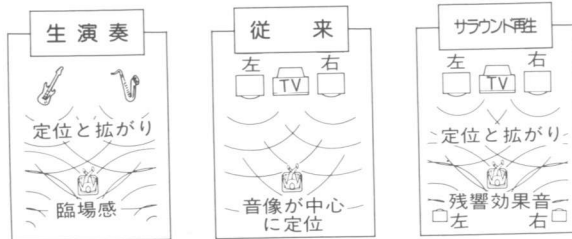
このたびは、ヤマハサラウンドアンプSR-30をお買い求めいただき誠にありがとうございます。

SR-30の優れた性能を発揮させていただくため、ご使用前にこの取扱説明書をお読みください。

特長

●大ホールなみの臨場感

大ホールの臨場感、その秘密はサラウンド再生にあります。前後左右から再生される音により自然な臨場感が再現されるのです。(下図参照) これをご家庭でお楽しみいただけるように開発されたのが、ヤマハサラウンドアンプSR-30です。



●自然な残響効果音

ヤマハサラウンドアンプSR-30は、ヤマハ独自のサラウンド回路を搭載し、自然な残響効果を再現するように設計されています。

●どんなソースにも対応

ステレオソースがサラウンド再生されるのはもちろんのこと、モノラルソース(AM放送やテレビ音声など)も疑似ステレオ化されますので、どんなソースでも立体的な音像をお楽しみいただけます。

●高性能ステレオパワーアンプ内蔵

実効出力30W+30Wの高性能ステレオパワーアンプを内蔵していますので、サラウンド用にパワーアンプを増設しなくても、プレゼンスピーカーを直接ドライブすることができます。

●多彩な発展性を秘めています

- プロセッサと独立し30Wのパワーアンプとして使用可能です。
- センタースピーカーや、スーパーウーファの追加が簡単です。
- プロセッサと内蔵アンプの間にグライコなどを挿入できます。

目次

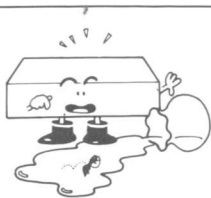
特長	1
豊かなオーディオライフのために	2
フロントパネルの名称とはたらき	3/4
リアパネルの名称とはたらき	5
プリメインアンプとの接続は	6
プリメインアンプ(ACCESSORY端子付)との接続は	7
セパレートアンプとの接続は	8
モノラルソースをステレオで楽しむには	9
ごきげんなサウンドをお楽しみください	10
スピーカー配置例	11/12
ブロックダイヤグラム	13
参考仕様	13
故障かなと思ったら	14

豊かなオーディオライフのために

高温をさけて！

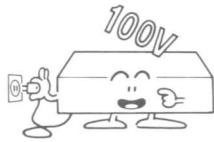


ほこり・水気をさけて！



国内のみ使用可

AC100V
家庭用電源コンセント



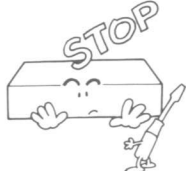
不安定な場所をさけて！



薬物厳禁



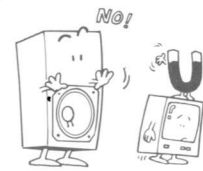
開けないで！



引っぱらないで！



磁気・テレビはさけて！



こわれた！？



14ページの「故障かなと思ったら」
をご覧ください。

保証書の手続きを！

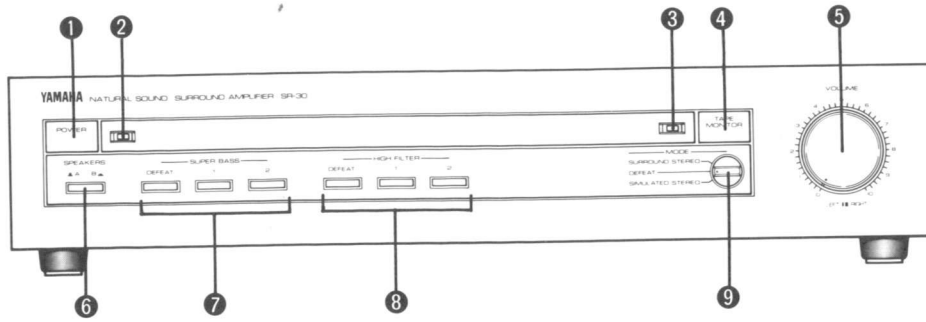


取扱説明書はかならず
保管してください。



ファイルなど

フロントパネルの名称とはたらき



①POWERスイッチ

このスイッチを押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

※電源を入れるときには、必ずVOLUMEつまみを最小の位置"0"に回してください。

※電源をいれてから数秒間は、スピーカー保護回路が働いているため音が出ません。

②パワーインジケータ

電源が入ると点灯し、切れると消灯します。

③TAPE MONITORインジケータ

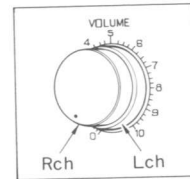
④TAPE MONITORスイッチがONの状態では点灯し、OFFの状態では消灯します。

④TAPE MONITORスイッチ

本機のテープ端子に接続したテープデッキのソースを再生するときに、このスイッチを押してください。もう一度押すとスイッチは解除されます。

⑤VOLUMEつまみ

サラウンド用プレゼンス(臨場感)スピーカーの音量を調節します。RchとLchを別々に動かすことで左右のバランス調整も可能です。



⑥ SPEAKERSスイッチ

本機に接続されたスピーカーシステム(A/B)を選択するスイッチです。スイッチを押し込んでない状態でA端子に接続されたスピーカーシステムから、スイッチを押し込んだ状態でB端子に接続されたスピーカーシステムから音が出ます。

※本機にスピーカーを接続する際は、必ず電源を切ってから接続してください。

※スピーカーコードは、絶対にショートさせないようにご注意ください。

⑦ SUPER BASSスイッチ

1 または 2 のスイッチを押すと、低域が強調されます。

DEFEAT……低域強調の必要のない場合に押してください。

1 ……………50Hz付近のレベルを8dB強調します。

2 ……………100Hz付近のレベルを8dB強調します。

⑧ HIGH FILTERスイッチ

1 または 2 のスイッチを押すと、高域のノイズ等を除去することができます。

DEFEAT……ノイズ除去の必要のない場合に押してください。

1 ……………5kHz以上の音をカットします。

2 ……………10kHz以上の音をカットします。

⑨ MODEスイッチ

通常のステレオ音、サラウンド化された音、疑似ステレオ音を選択するスイッチです。

SURROUND STEREO……ステレオソースをサラウンド化します。(コンパクトディスク、レコード、HiFi VTR、ビデオディスクなど)

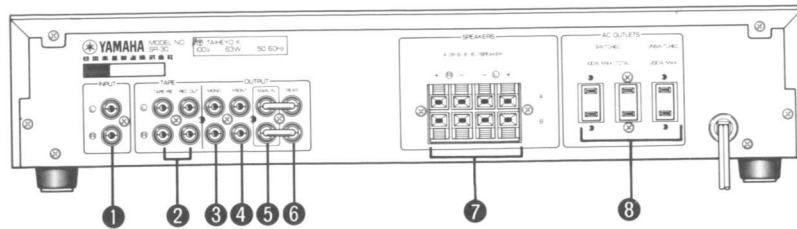
DEFEAT……通常のステレオの音が再生されます。(サラウンドプロセッサ回路を通過しない)

SIMULATED STEREO……モノラルソースを疑似ステレオ化します。(モノラル録音のVTR、ビデオディスク、テレビ、レコード、ラジオのAM放送など)

ご注意

モノラルソースの場合はSIMULATED STEREO以外の位置では効果は得られません。

リアパネルの名称とはたらき



①入力端子(INPUT)

本機とステレオアンプを接続する入力端子です。

②テープ入出力端子(TAPE)

テープデッキの録音、再生に使用する端子です。フロントパネルのTAPE MONITORスイッチを押した状態(TAPE MONITORインジケーターが点灯)にするとテープ再生音が出力されます。

③モノラル出力端子(MONO)

音場再生用のセンター定位等を確保するための出力(2系統)です。

④フロント出力端子(FRONT)

フロントパネルのMODEスイッチをシミュレーテッドステレオにしたときに疑似ステレオ再生が出力され、他のポジションでは、オリジナルソースが出力されます。

⑤メイン入力端子(MAIN IN)

内蔵のパワーアンプへの入口です。ジャンパーピンをはずしてこの端子へ接続することにより、本機をパワーアンプ(実効出力30W×2)としてご使用いただけます。通常は、リア出力とジャンパーピンで接続されています。

⑥リア出力(REAR)

フロントパネルのMODEスイッチをサラウンドステレオとシミュレーテッドステレオにした場合、サラウンドプロセッサ回路にて処理された信号を出力します。デフィートするとオリジナルソースが出力されます。通常は、メイン入力端子とジャンパーピンで接続されています。

⑦スピーカーターミナル(SPEAKER)

スピーカーを接続する端子です。スピーカー出力はAとBのどちらかを選択することができます。(A+Bは出力しません。)

⑧予備電源コンセント(AC OUTLET)

他のオーディオ機器に電源を供給するコンセントです。

・SWITCHED(100W MAX. TOTAL)

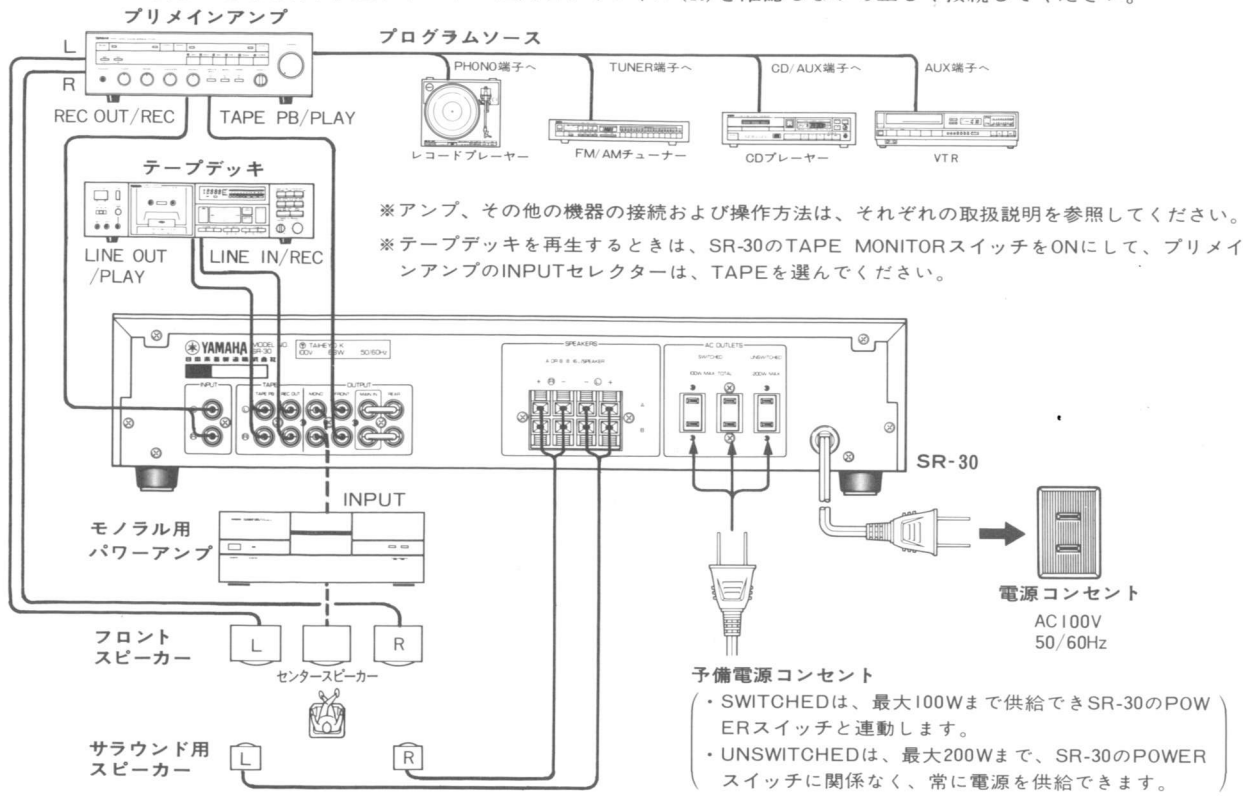
本機のPOWERスイッチに連動してON-OFFします。消費電力が合計100Wまで供給できます。

・UNSWITCHED(200W MAX.)

本機のPOWERスイッチには関係なく常に電源を供給できる予備コンセントです。消費電力が最大200Wまで供給できます。

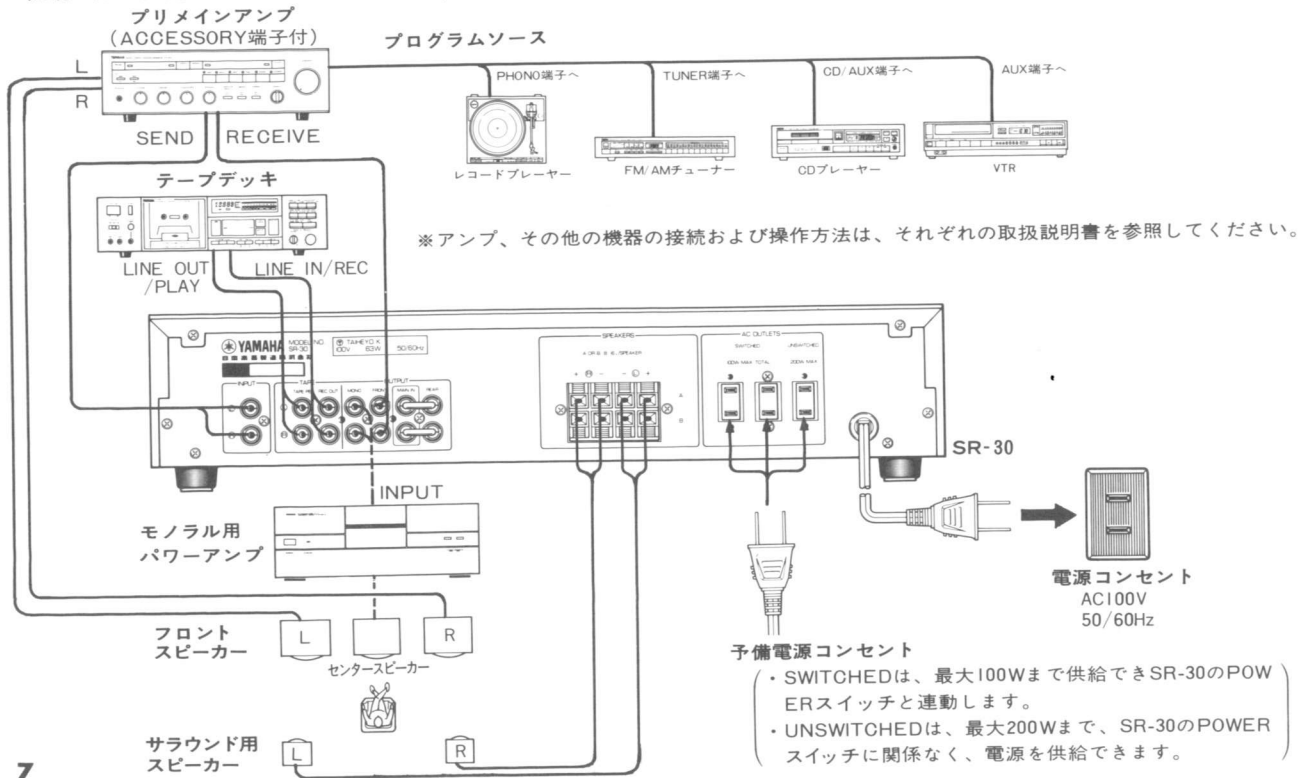
プリメインアンプとの接続は

●接続の際は各機器の電源を切り、左チャンネル(L)、右チャンネル(R)を確認しながら正しく接続してください。



プリメインアンプ(Accessory端子付)との接続は

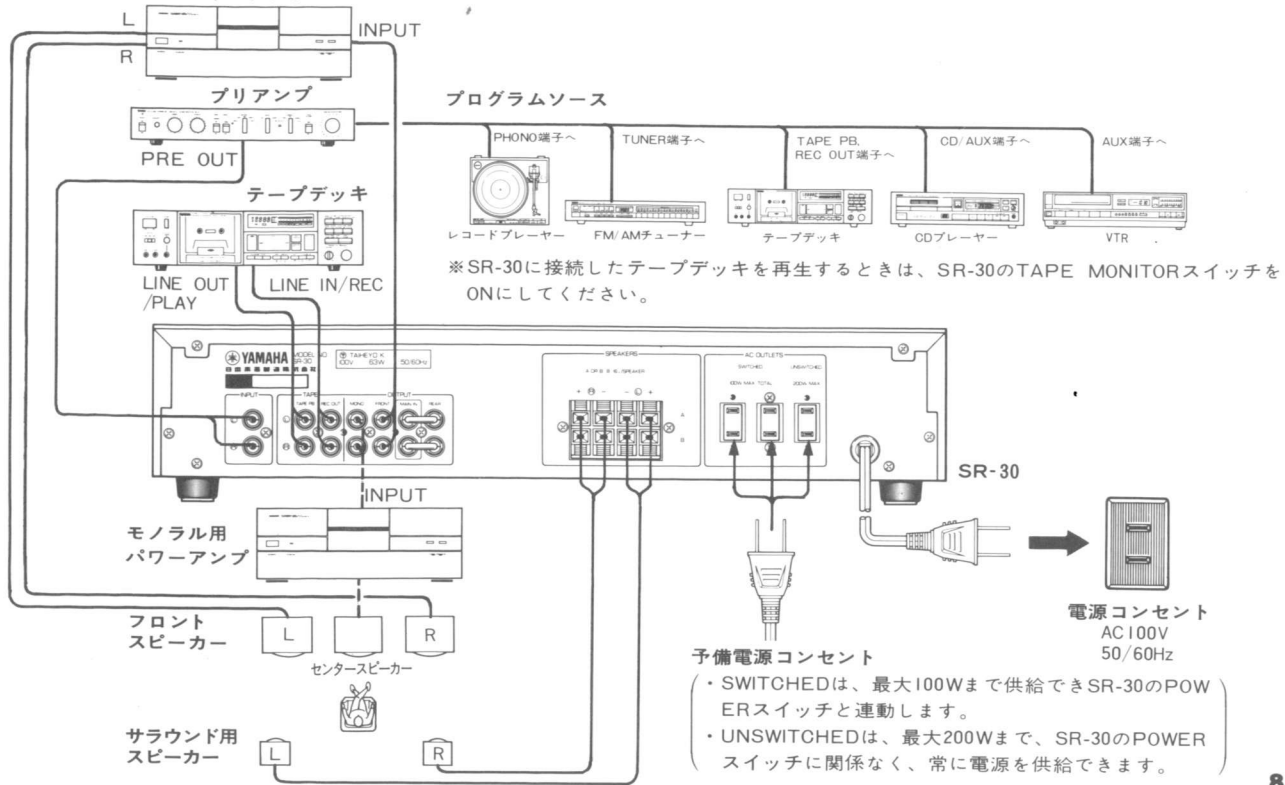
- ACCESSORY端子はYAMAHAの一部のアンプに装備されている端子です。
- 接続の際は各機器の電源を切り、左チャンネル(L)、右チャンネル(R)を確認しながら、正しく接続してください。



セパレートアンプとの接続は

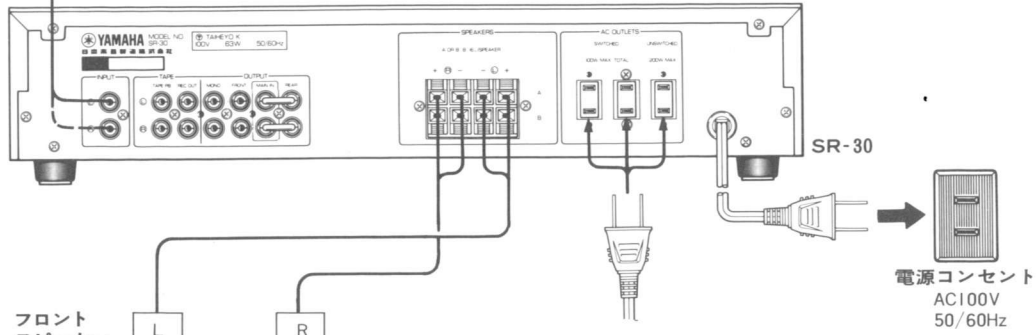
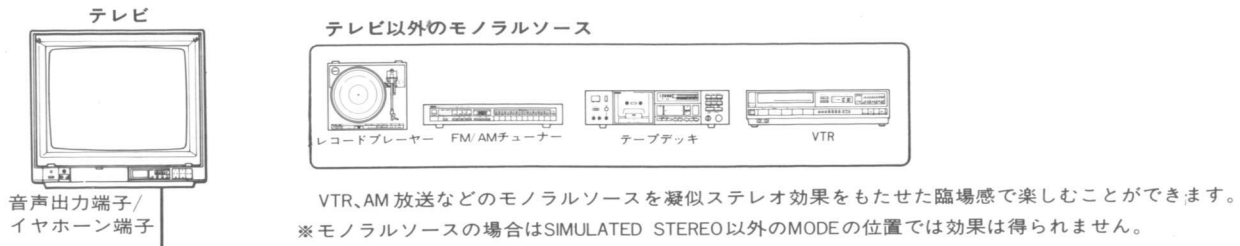
●接続の際は各機器の電源を切り、左チャンネル(L)、右チャンネル(R)を確認しながら正しく接続してください。

パワーアンプ



モノラルソースをステレオで楽しむには

●接続の際は各機器の電源を切り、左チャンネル(L)、右チャンネル(R)を確認しながら正しく接続してください。



予備電源コンセント

- ・SWITCHEDは、最大100Wまで供給できSR-30のPOWER ERスイッチと連動します。
- ・UNSWITCHEDは、最大200Wまで、SR-30のPOWER スイッチに関係なく、常に電源を供給できます。

ごきげんなサウンドをお楽しみください

接続が完了しましたら、各装置の電源を入れて次の手順でお楽しみください。

①プログラムソースを選択します。

- アンプに接続されているプログラムソースを演奏する時は、本機のTAPE MONITORスイッチをOFF (TAPE MONITORインジケータ消灯) にします。
- 本機に接続されているテープデッキを演奏する時はTAPE MONITORスイッチをON (TAPE MONITORインジケータ点灯) にします。

②MODEスイッチを選択します。

- MODEスイッチの位置により、サラウンド用プレゼンス (臨場感) スピーカーの音は次の様に変化します。

MODE スイッチ	ステレオ	モノラル
SURROUND STEREO	サラウンド化されたステレオ音	疑似ステレオ (※注)
DEFEAT	ステレオ	モノラル
SIMULATED STEREO	疑似ステレオ	疑似ステレオ

(※注)L・Rとも接続すると音は出ません。

③SPEAKERS (A/B) スイッチをセットします。

④お好みに応じてSUPER BASS (低域強調)、HIGH FILTER (ノイズ除去) スイッチをセットします。

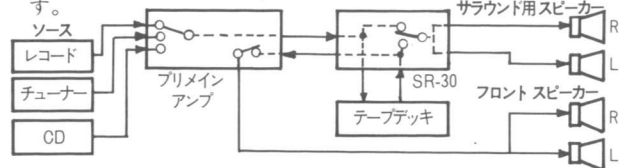
⑤VOLUMEツマミでプレゼンス (臨場感) スピーカーの音量を調整します。

※本機に接続したテープデッキで録音する時のソースは、アンプで選択されたソースを録音することができます。

■プログラムソースの選択は

本機とアンプとの接続方法によってプログラムの選択方法が異なります。

1. プリメインアンプとの接続では、REC OUT SELECTOR スイッチまたは、INPUT SELECTORでソースを選択します。

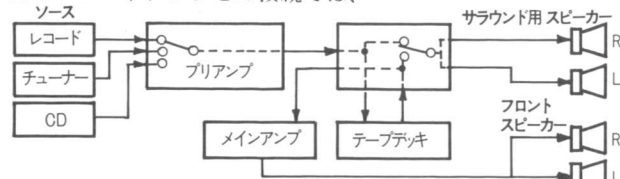


※アンプの種類によってプログラムソースの選択が次の様に異なります。

アンプの種類	プログラムソースは	フロントスピーカーの選択
REC OUTセクターがある場合	REC OUT SELECTORスイッチで選択	INPUT SELECTORをTAPEにセット
TAPE MONITORスイッチがある場合	INPUT SELECTORで選択	TAPE MONITORスイッチをONにセット
ACCESSORY端子がある場合	INPUT SELECTORで選択	—

ACCESSORY端子は、YAMAHAの一部のアンプに装備されている機能です。

2. セパレートアンプとの接続では、

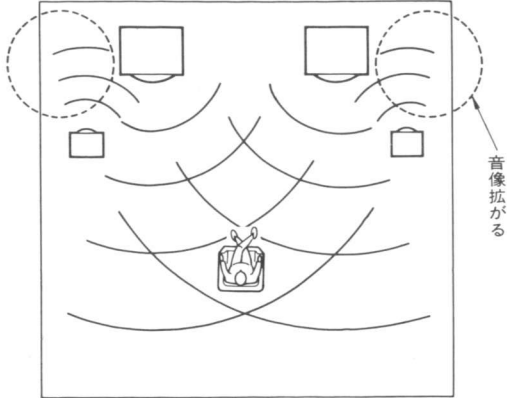


※プリメインのインプットセクターでプログラムソースを選びます。

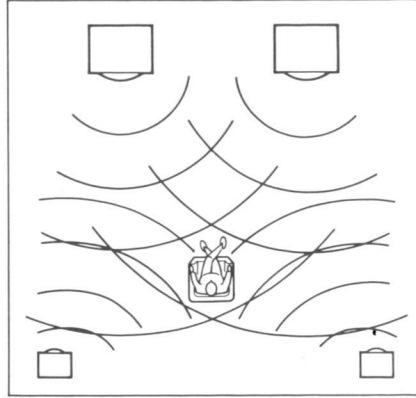
スピーカー配置例

プレゼンスピーカーの配置は、部屋の大きさや残響特性などにより、いろいろなパターンが考えられます。次に代表的な4つのシステムをご紹介しますので、お好みに合わせてセットしてお楽しみください。

〔使用例1〕

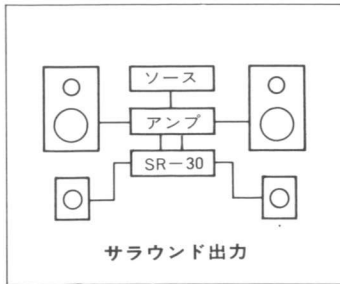


〔使用例2〕



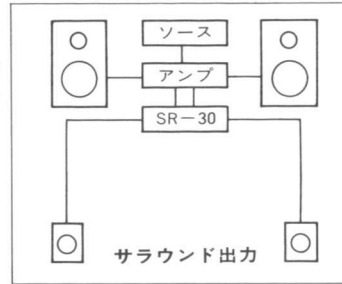
●ステージサウンド
(ステレオソース)

★前方に広い音像を作りステージサウンドのイメージを強調できます。SR-30のMODEスイッチはSURROUNDを選択してください。

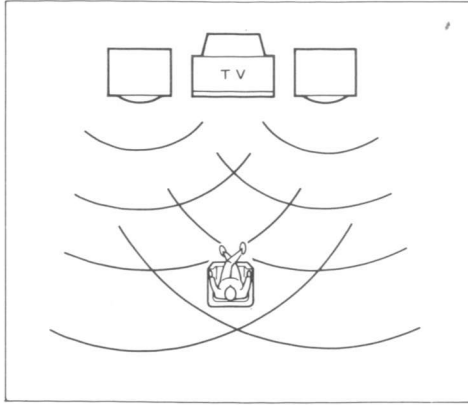


●ライブサウンド
(ステレオソース)

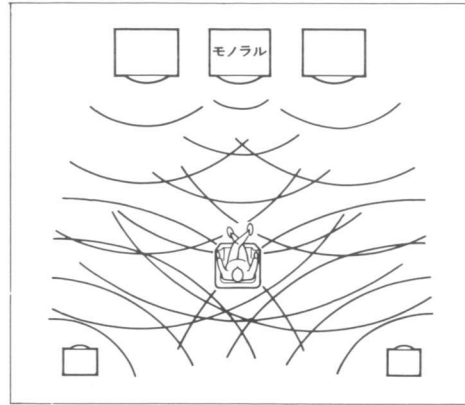
★ホールの中に居るようなライブな臨場感を楽しむことができます。SR-30のMODEスイッチはSURROUNDを選択してください。



【使用例 3】

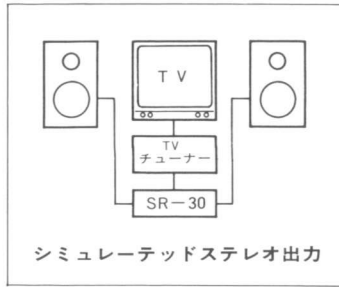


【使用例 4】



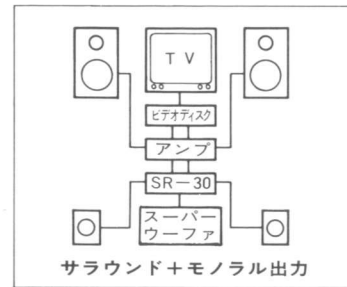
●シアターサウンド
(モノラルソース)

★TVやビデオなどのモノラルソースでも自然なステレオ感のシアターサウンドを楽しめます。SR-30のMODEスイッチは、SIMULATEDを選択してください。

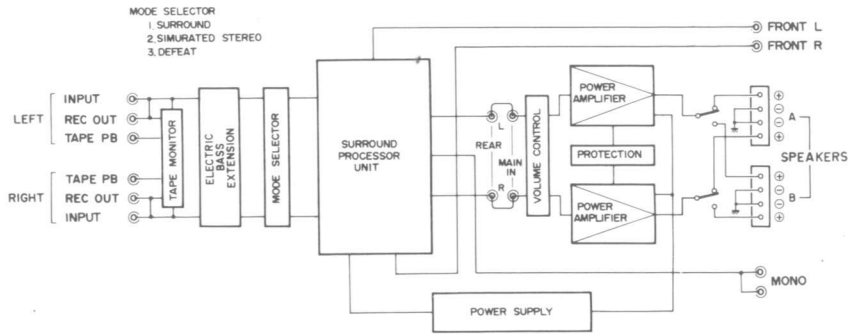


●シアターサウンド
(ステレオソース)

★VDやHiFiビデオなどステレオソースの場合、[例2]を更に発展させて、低音を強化するスーパーウーファや定位をよくするセンターSPを加え、豪華なシアターサウンドを楽しむことができます。SR-30のMODEスイッチは、SURROUNDを選択してください。



ブロックダイアグラム / 参考仕様



■サラウンドプロセッサ部

- ・ 1 入力 3 出力 (フロント出力、リヤ出力、モノラル出力)
- ・ 入力感度 150mV
- ・ 出力電圧 / 出力インピーダンス 150mV/1k Ω (FRONT, REAR)
- ・ モノラル出力 150mV/5k Ω
- ・ 最大出力 9V [20~20kHz, 0.01% T.H.D. (FRONT, REAR)]
- ・ スーパーパス回路 1 ... 50Hz+8dB
2 ... 100Hz+8dB
- ・ ハイフィルター回路 1 ... 5 kHz(12dB/oct)
2 ... 10kHz(12dB/oct)
- ・ モード切り換え 1 ... サラウンドステレオ(2ch→4ch)
2 ... ディフェイト
3 ... シミュレーテッドステレオ (モノラル→2ch)

■パワーアンプ部

- ・ 定格出力 30W+30W (20~20kHz, 0.01% T.H.D., 8 Ω)
- ・ 入力感度 150mV
- ・ SN比(入力ショートIHF, Aネットワーク) 105dB
- ・ ACアウトレット SWITCHED \times 2 100W(MAX)
UNSWITCHED \times 1 200W(MAX)
- ・ 定格電源電圧, 周波数 100V, 50/60Hz
- ・ 定格消費電力 63W
- ・ 外形寸法(W \times H \times D) 435 \times 92 \times 293
- ・ 重量 4.8kg
- ・ 付属品 入出力コード \times 2

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ・サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチをONにしても電源が入らない。	電源コードのプラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていない。	電源プラグを電源コンセントにしっかり差し込みなおしてください。
インプットセレクターを切り換えても再生音が全く出ない。	SPEAKERSスイッチが正しくセットされていない。	正しくセットしてください。
	VOLUMEツマミが絞られている。	VOLUMEツマミを右(時計方向)に回してください。
	入力端子のピンプラグが確実に差し込まれていない。	ピンプラグをしっかりと差し込みなおしてください。
	アンプとスピーカーの接続が不完全。	接続を確認してください。
左右スピーカーあるいは左右いずれかのスピーカーから音が出ない。	アンプとスピーカーの接続が不完全。	接続を確認してください。
	VOLUMEのバランスがLかRのどちらかにずれている。	VOLUMEのバランスを正しく調整してください。
低音のない不自然な再生音で、音像が安定しない。	アンプとスピーカーの位相(+、-)が合っていない。	アンプとスピーカーの位相(+、-)を合わせて接続しなおしてください。
“ブーン”というハム音が入る。	ピンプラグの接続不良。	ピンプラグをしっかりと差し込みなおしてください。
レコード再生時、VOLUMEをあげると“ワーン”という音が出る。	レコードプレーヤーとスピーカーシステムの設置場所が近すぎたり、不安定だったりして“ハウリング”をおこしている。	レコードプレーヤーとスピーカーシステムの各々の設置場所を変えてください。(特に部屋のコーナーは避けてください。)

ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂くためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお徳です。(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●ステレオの状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、ステレオの状態をできるだけ詳しくお知らせください。またセットの品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示しております。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

- 北海道 〒065 札幌市東区本町1条9-3
TEL(011)781-3621
- 仙台 〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL(0222)36-0249
- 東京 〒211 川崎市中原区木月1184
TEL(044)434-3100
- 新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F
TEL(0252)43-4321
- 浜松 〒432 浜松市東伊場2-13-12
TEL(0534)56-9211
- 名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2
日本楽器流通センター3F TEL(052)652-2230
- 大阪 〒565 吹田市新野屋下1-16 千里丘センター内
TEL(06)877-5262
- 四国 〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内
TEL(0878)51-7777 (0878)22-3045
- 広島 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39
TEL(082)874-3787
- 九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL(092)472-2134
- 本社
営業技術課 電音サービスセンター 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL(0534)65-1111
- ステレオ営業所
- 北海道 〒064 札幌市中央区南10条1-4 ヤマハセンター内
TEL(011)512-6115
- 仙台 〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉通りビル
TEL(0222)23-3101
- 東京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F
TEL(03)255-6767 (03)255-5691 (03)255-2201
(03)255-1825 (03)255-2605 (03)255-4701
- 横浜 〒211 川崎市中原区木月1184
TEL(044)434-4871
- 新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 ヤマハ新潟センター内
TEL(0252)41-2084
- 千葉 〒260 千葉市千葉港2-1 千葉中央コミュニティセンター内
TEL(0472)47-6622
- 水戸 〒310 水戸市三ノ丸1-4-73 三井ビル5F
TEL(0292)24-7774
- 高崎 〒370 高崎市連雀町75 ヤマハ高崎月販内
TEL(0273)27-3322

- 静岡 〒422 静岡市緑ヶ丘町1-15 緑ヶ丘ビル48
TEL(0542)85-4878
- 浜松 〒432 浜松市東伊場2-13-12
TEL(0534)56-4461
- 名古屋 〒464 名古屋市中区東山通5-65
ヤマハ東山センター3F TEL(052)782-7551
- 北陸 〒920 金沢市武蔵町2-12 むらばたビル5F
TEL(0762)21-2166
- 関西 〒556 大阪市浪速区敷津東 1-9-16 ヤマハなんば
センター内 TEL(06)647-6411
- 中国 〒730 広島市中区八丁堀10-14
TEL(082)221-4123
- 四国 〒760 高松市丸亀8-7 ヤマハビル7F
TEL(0878)22-8642
- 北九州 〒803 北九州市小倉区堅町2-3-13
ヤマハ小倉センター内 TEL(093)592-3122
- 九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL(092)472-2131

■ヤマハオーディオ日本楽器直営店

- 札幌店 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目
ヤマハセンター TEL(011)512-6126
- 仙台店 〒980 仙台市一番町2-6-5
TEL(0222)27-8517
- 銀座店 〒104 東京都中央区銀座7-9-14
TEL(03)572-3133
- 浜松店 〒430 浜松市銀治町321-6
TEL(0534)54-4327
- 名古屋店 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL(052)201-5153
- 心斎橋店 〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39
TEL(06)211-8869
- 神戸店 〒650 神戸市中央区元町2-7-3
TEL(078)391-7651
- 海外拠点
ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・
スウェーデン・シンガポール・フィリピン

日本楽器製造株式会社
〒430 浜松市中沢町10-1 TEL.(0534)65-1111(代)

住所および電話番号は変更になる場合があります。

BWgG, R ⊕